



ひらどだい

令和2年度 学校だより 5月号 横浜市立平戸台小学校学校長 藤巻 孝之



再開に思いをはせる

校長 藤巻 孝之

新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになった方々に対し、心よりお悔やみ申し上げますとともに、現在、治療に当たられている方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

「4年に一度じゃない。一生に一度だ。-ONCE IN A LIFETIME-」

日本中、世界中を熱狂させたラグビーワールドカップの公式キャッチコピーです。日本代表の「ONE TEAM」は『新語・流行語大賞』2019“年間大賞”にもなりました。私たちはラグビーというスポーツを通じて一堂に会し、確かに、つながり合い、励まし合い、勇気をもたらったのです。今から半年前のことです。

極力人と接することを避け、外出自粛を余儀なくされている今、人々が集い、感動、歓喜を共感、共有することはできません。「一緒に勉強したい。」「一緒にドッジボールをしたい。」「一緒に給食を食べたい。」様々な場所から聞こえてくる子どもたちの声です。「一緒に」という言葉が「一緒にいられない」現実をストレートに表現しています。そして、当たり前だと思っていた誰もが、誰でも「一緒に」いられたことへの有難さを実感しています。

日々悲しいニュースが入ってきては落胆してしまうのです。日本中、世界中が元気で活気があった時をたいつい考えてしまうのです。しかし、それは「〇〇再開、復活」を信じ、今をじっと耐えながら、爆発させるエネルギーを蓄えておく期間でもあるのです。

通勤途中に見られる畑では、トウモロコシが勢いよくその丈を伸ばしています。空の青さは濃さを増し、若葉が目まぶしい季節となりました。時間は確実に流れています。「新しい生活様式」が求められる社会となったとしても、変わらないもの、守らなければならないものがあります。その一つが、子どもたちが元気に、笑顔で学校に通う姿です。再開に向けて、今、できることに力を注ぎます。

休業延長に伴い、子どもたちの家庭学習を少しでも充実させるための方策を、メール配信や学校ホームページ等でお伝えします。ご理解、ご協力をよろしく願います。

ご不明、ご心配なことがありましたら、学校までご連絡ください。